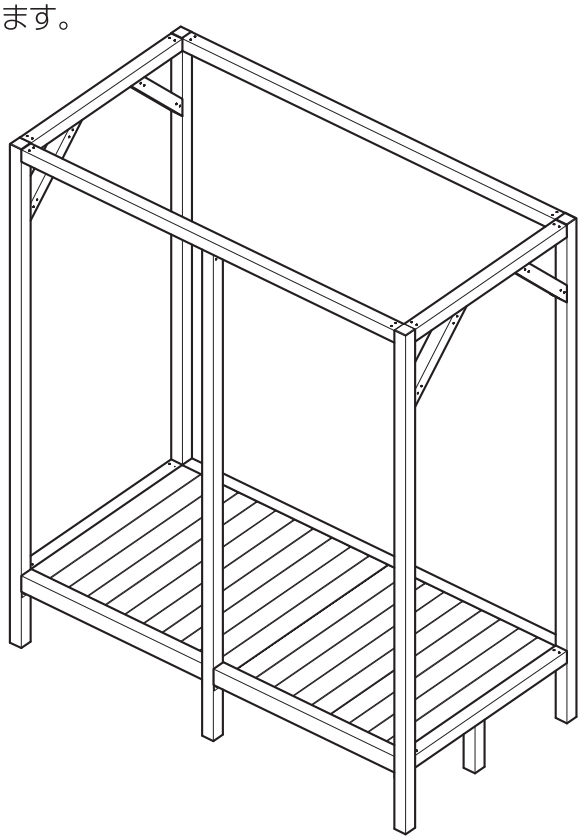
取扱説明書（お客様保管用）

Be 美 WOOD®
Beautiful woodgrain design enhances your garden.

【品番】BEW-T2600　【品名】庭テラス 2600

この度は、弊社の商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
本商品をご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
また、お読みになった後はいつでもご覧になれるよう、
大切に保管してください。



安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告　死亡、重傷などのおそれあり

禁止

- 運動具やお子様の遊具等、目的以外の使用や改造はしないでください。
- ぶらさがったり、よりかかったり、のぼったりしないでください。特にお子様が遊ばないように注意してください。

強制

- 転倒すると大変危険です。安定した場所に設置し、転倒防止処理をしてから使用してください。
- 脚立を使っての高所作業を必要とする場合があるため、身体のバランス、手足元の位置を確認し、落下等の事故に注意してください。

⚠ 注意　けが、事故などのおそれあり

禁止

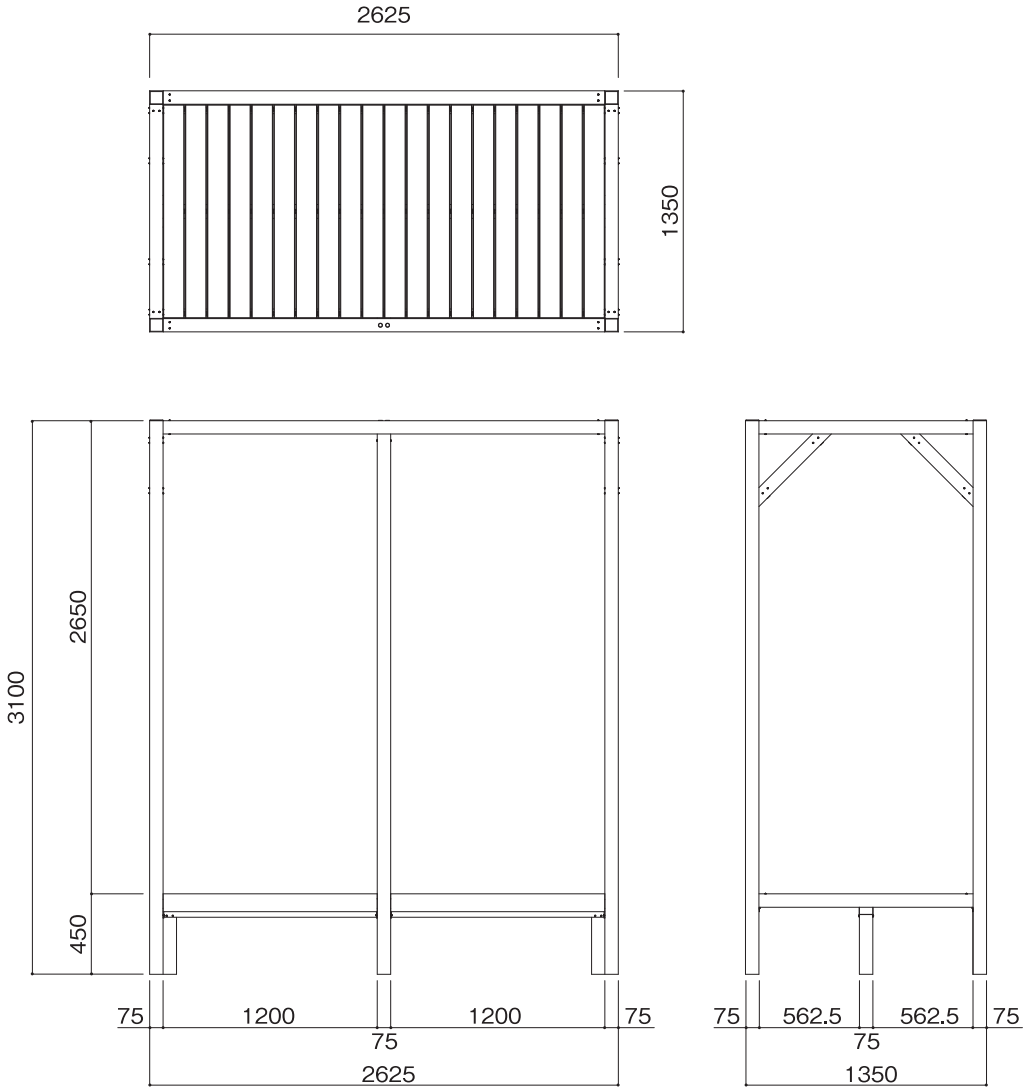
- 以下のような場所で使用しないでください。破損や事故の原因となります。
  - ・危険な場所や通行の妨げになる場所、強い振動、衝撃のある場所
  - ・地面に小石や砂利の多い場所や、傾斜や段差のある不安定な場所
  - ・ベランダなどの風の影響を受けやすい場所、風の強い場所、高い場所…強風時に倒れたり、落下すると危険です。
    ※2階以上には設置しないでください。
  - ・周りに壊れやすいものなどを置いている場所…転倒すると危険です。
  - ・水はけの悪い場所
  - ・地盤が弱い場所
  - ・常に水や温水に触れたり、水没する場所
  - ・火気の近くや高温になる場所…熱の影響により、商品の変形や火災の原因になります。また、被膜の劣化やはく離につながります。
  - ・大気中に強い酸やアルカリ成分が含まれる場所…商品の性能が低下するおそれがあります。
- すき間に手や指を入れないでください。
- 商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃を与えないでください。破損や事故の原因になります。
- デッキの上で飛んだり、跳ねたりしないでください。
- 無理な荷重をかけないでください。
- 積雪地域以外でも万一、本体に雪が積もった場合は除雪してください。

⚠ 注意

強制

- 平地で組み立ててください。
- 安全のため組み立ては3人以上で行ってください。
- 組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
- 組み立ての際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
- 組立手順に従い、すべてのネジを確実に締めてください。組み立て完了後、ネジにゆるみがないか確認してください。ゆるんだままで使用すると危険です。
- ネジ取付時、必要以上に締めないでください。
- 組み立て完了後、ゴミや汚れを取り除いてください。
- 組み立てが完成すると移動が困難になります。始める前に設置する場所を確定してください。

寸法図



単位：mm

組立方法

●平坦な場所で、空き箱を下に敷いてから組み立てると商品にキズがつきません。

※屋外で保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。

Ⓐ柱×2

仮穴

Ⓑ柱×2

仮穴

仮穴

仮穴

Ⓒ柱×1

約3m

仮穴

仮穴

仮穴

仮穴

Ⓓ上部フレーム(短)×2
※1面に仮穴8個
反対の面に仮穴4個

仮穴

仮穴

仮穴

Ⓔ下部フレーム(短)×2
※3面に仮穴各4個ずつ

約2.5m

金具

Ⓕ上部フレーム(長)×1
※金具付

約2.5m

Ⓖ上部フレーム(長)×1
※金具なし

Ⓗ筋交×4

Ⓘ大引(背面)×1

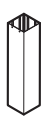
Ⓙ大引(中央)×1

Ⓚ大引(前面)×2

断面
ⒾⒿⓀ 共通

組立方法

Ⓛ L型アングル×2

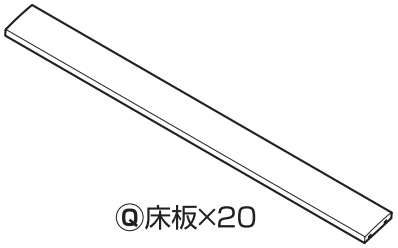


Ⓜ脚（短）×3

Ⓝ脚（長）×1

Ⓞ金具（大）×6

Ⓟ金具（小）×4



Ⓠ床板×20

Ⓡドリルネジ×176
※予備×4

Ⓢ柱キャップ×4

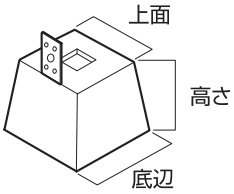
Ⓣキャップ×16

⚠ 注意

ⓁL型アングルは、ネジ先端が出た箇所があります。組み立ての際は注意してください。

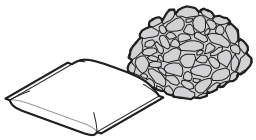
※**ⓆⓆ床板**は時間の経過とともにシルバーグレーに変色します。組み立て前の塗装をおすすめします。

■ お客様手配

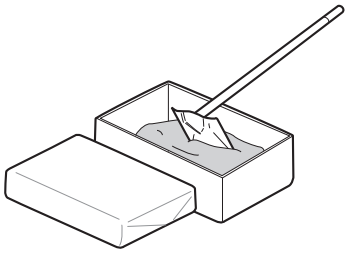


羽子板付束石（沓石）×9
※推奨サイズ
上面14×底辺17.5×高さ15cm以上
※取り付けには付属のⓇドリルネジを使用

水糸



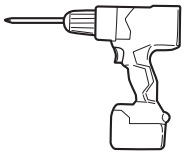
基礎用の砕石
※砂利でも可



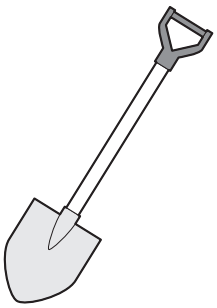
コンクリートまたは
モルタル

※コンクリートまたはモルタルは、塩分を含む砂（海砂）や、コンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対に使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊のおそれがあり危険です。

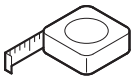
■ 必要工具



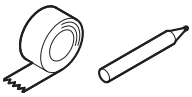
電動ドライバー・ドリル



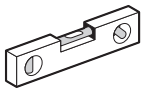
シャベル



スケール

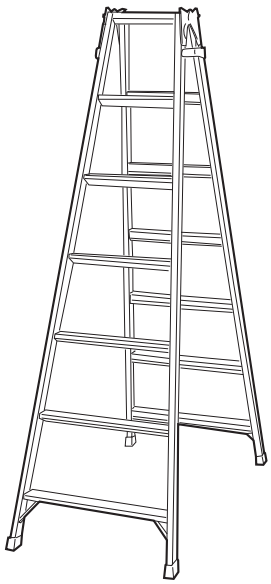


マスキングテープ、
マーカーなど



水平器

軍手



脚立（7尺/2.1m）×2

※地固め用の工具やさしがね、ゴムハンマーがあれば、組み立てがよりスムーズです。

組立方法

⚠注意

- 敷地境界を越えないように注意してください。
- ガタツキおよび転倒防止のため、必ず、水平で十分な強度のある場所に設置してください。
- 防犯上、不審者が踏み台として使用し、侵入が容易になるような場所には設置しないでください。

組立の前に…

設置場所を決めます。

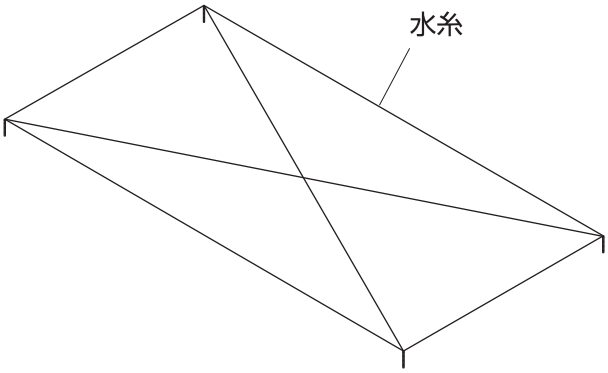
チェック項目

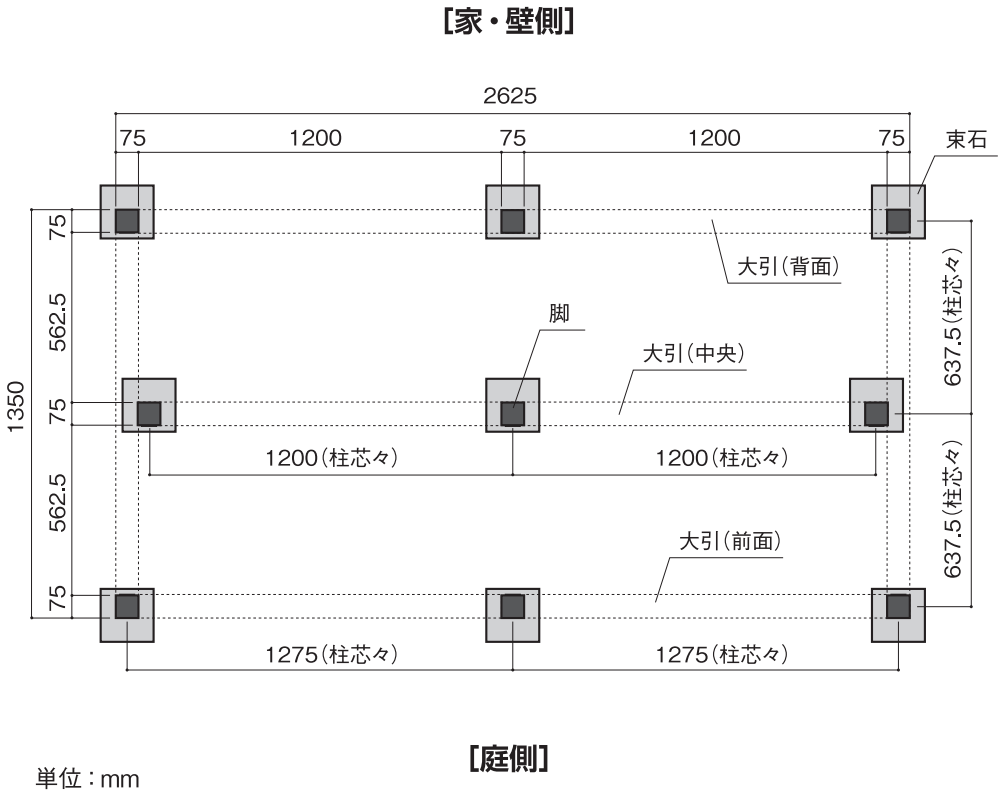
- □ 障害物（ブロック塀、樹木、雨樋、エアコンの室外機等）や撤去物はないですか?
- □ 取り付けの際に電気、水道が使用できますか?
- □ 基礎となる部分に障害物や埋設物（配水管や、ガス管・水道管などの埋設物など）はないですか?

1 束石の設置

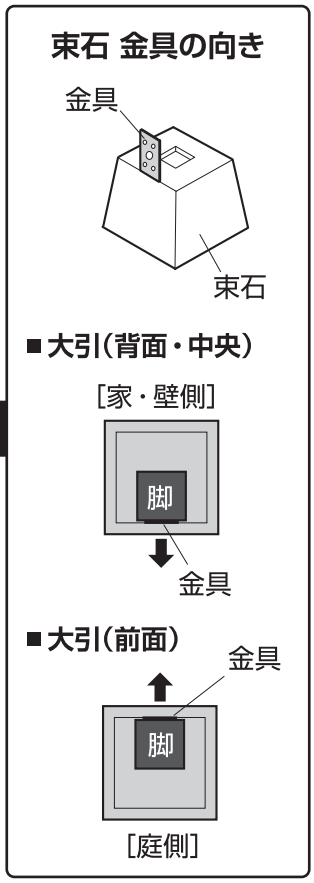
1.以下の寸法図を参照に、設置場所に**水糸**（お客様手配）を張り、**脚**と**束石**（お客様手配）の位置に目印をつけます。
※墨出しを行ってください。

■…脚の位置 ※脚はすべて75角
□…束石の位置 ※「束石 金具の向き」参照





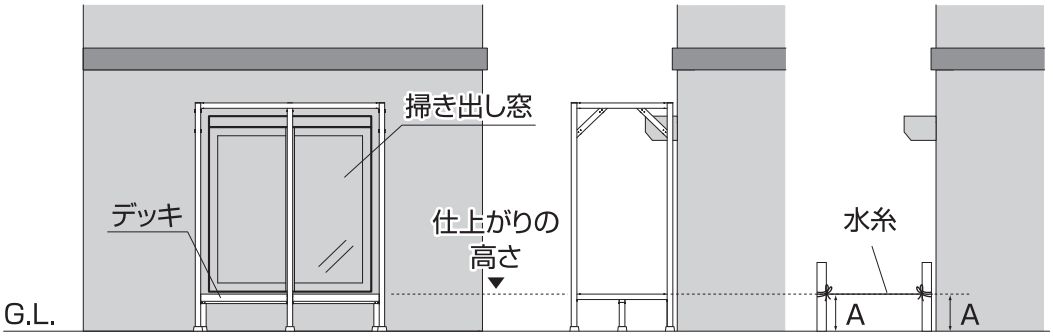
単位：mm



組立方法

2.デッキ部分の仕上がりの位置に水糸を張ります。
※仕上がりの位置は掃き出し窓の高さを考慮してください。

【設置のイメージと高さの設定】

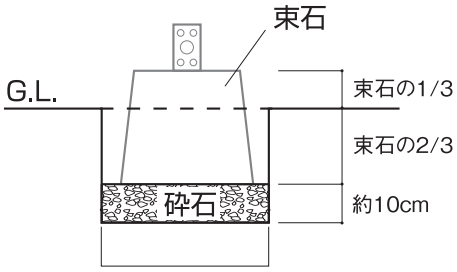


地面から仕上がりの高さ(A)を測り、
同じ高さになるように、水糸を張ります。

3.基礎用の穴を掘り、表面をならします。
※**束石**で表面をならしてください。

4.砕石(お客様手配)を敷き、
軽く突き固めます。

【穴の大きさの目安】

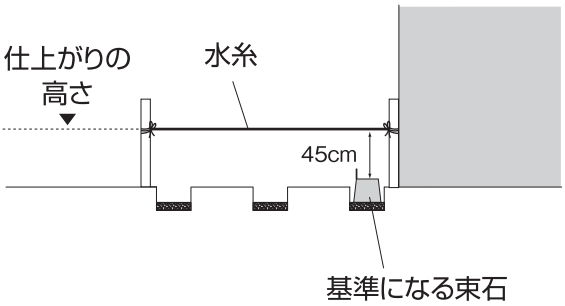


※束石全高の
2/3以上を
地中理設

束石の底面幅+10cm程度(目安)

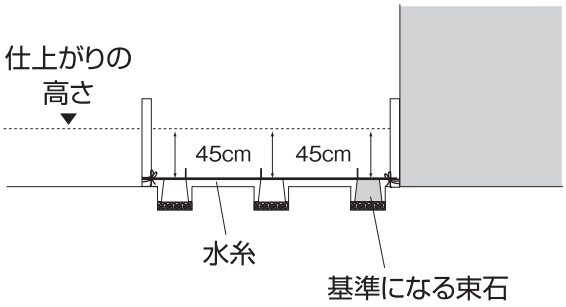
5.掃き出し窓側の1カ所のみ、**束石**を仮置きします。

6.束石天面からデッキの高さ(45cm)の位置と
仕上がりの高さが合っているか確認します。
※低い場合は**砕石**を足してください。
高い場合は**砕石**を減らすまたは、押し込んでください。



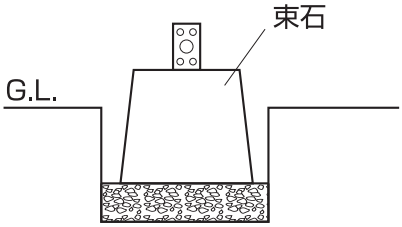
7.束石を取り外し、**砕石**を突き固めます。
水平レベルを確認します。
※**束石**で表面をならしてください。
※**水平器**を使用します。

8.束石を設置します。
再度、水平レベルを確認します。
※**水平器**を使用します。



9.基準になる**束石**の天面に水糸を張ります。残りの**束石**の高さを基準になる**束石**天面の高さに合わせて、設置します。

10.残りの**束石**の高さを同様に調整し、
設置します。



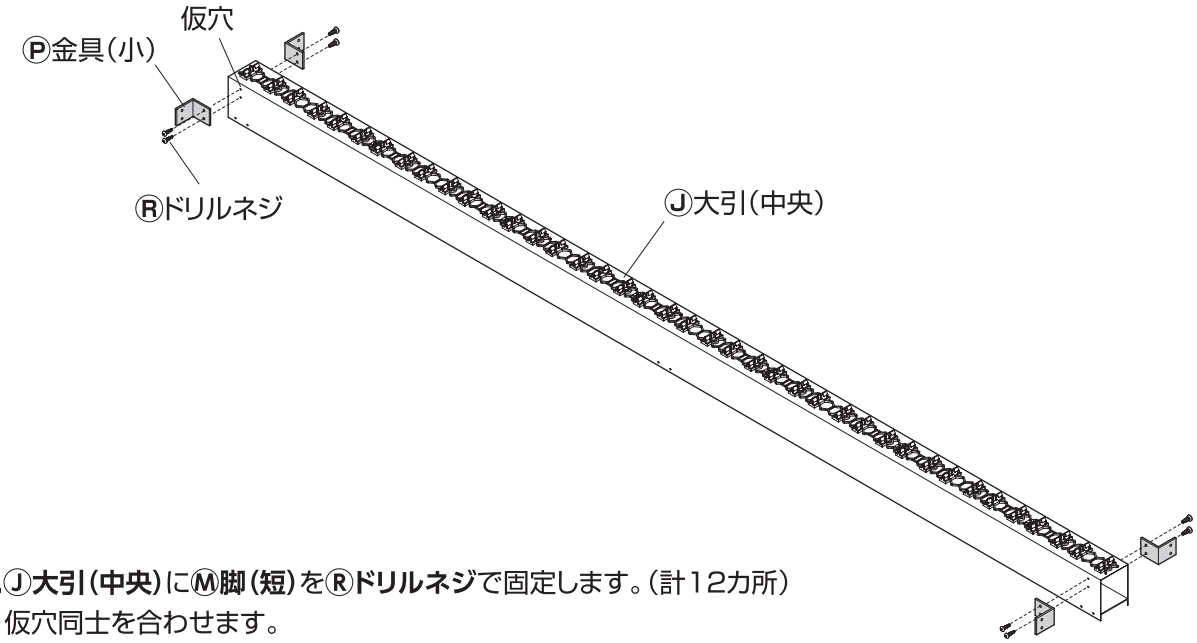
⚠注意

束石の設置作業が十分でないと、地面の浮き沈みが発生するおそれがあります。

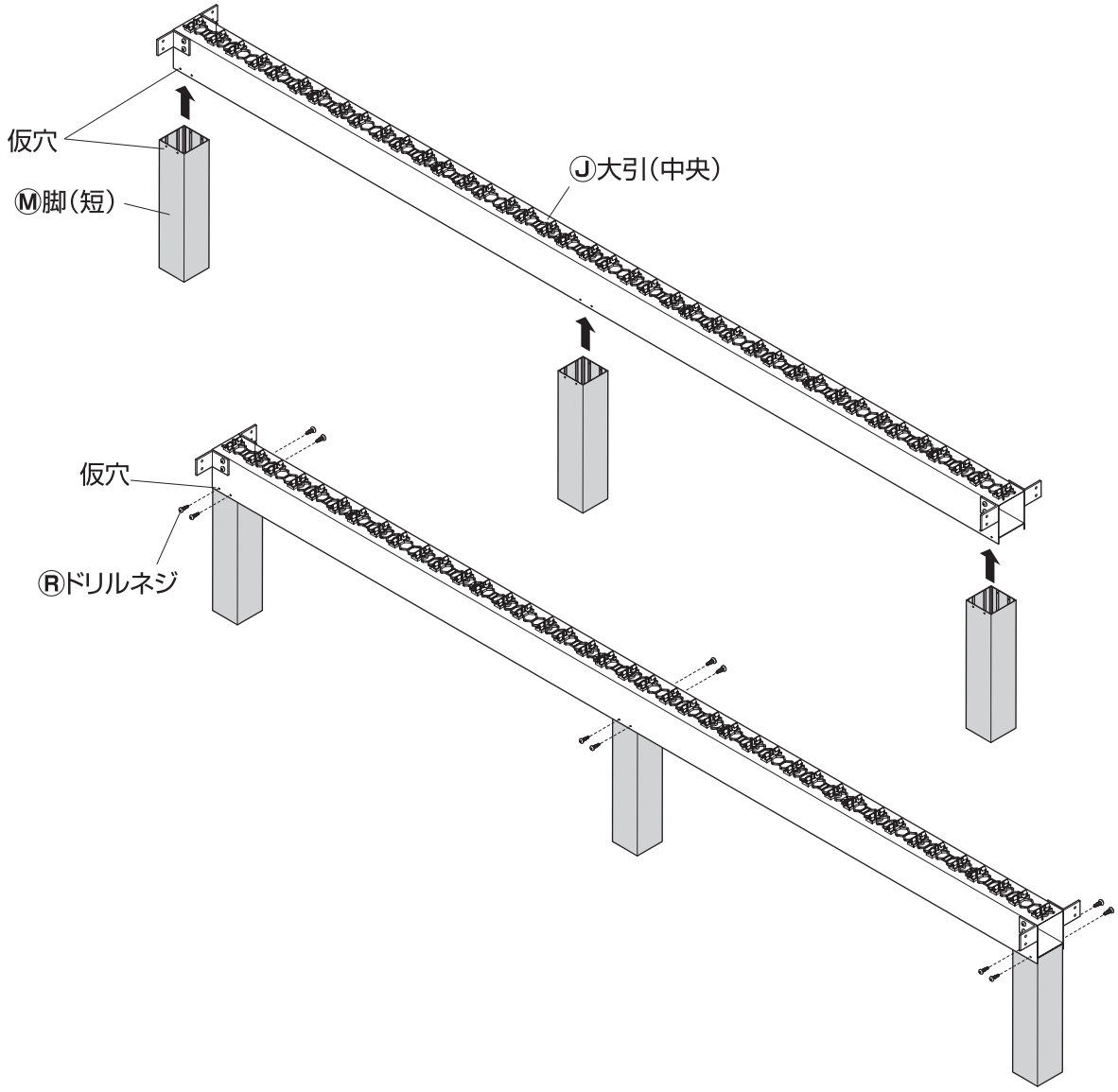
組立方法

2 大引(中央)の設置

1.Ⓙ大引(中央)に**Ⓟ金具(小)**を**Ⓡドリルネジ**で固定します。
(計8カ所)



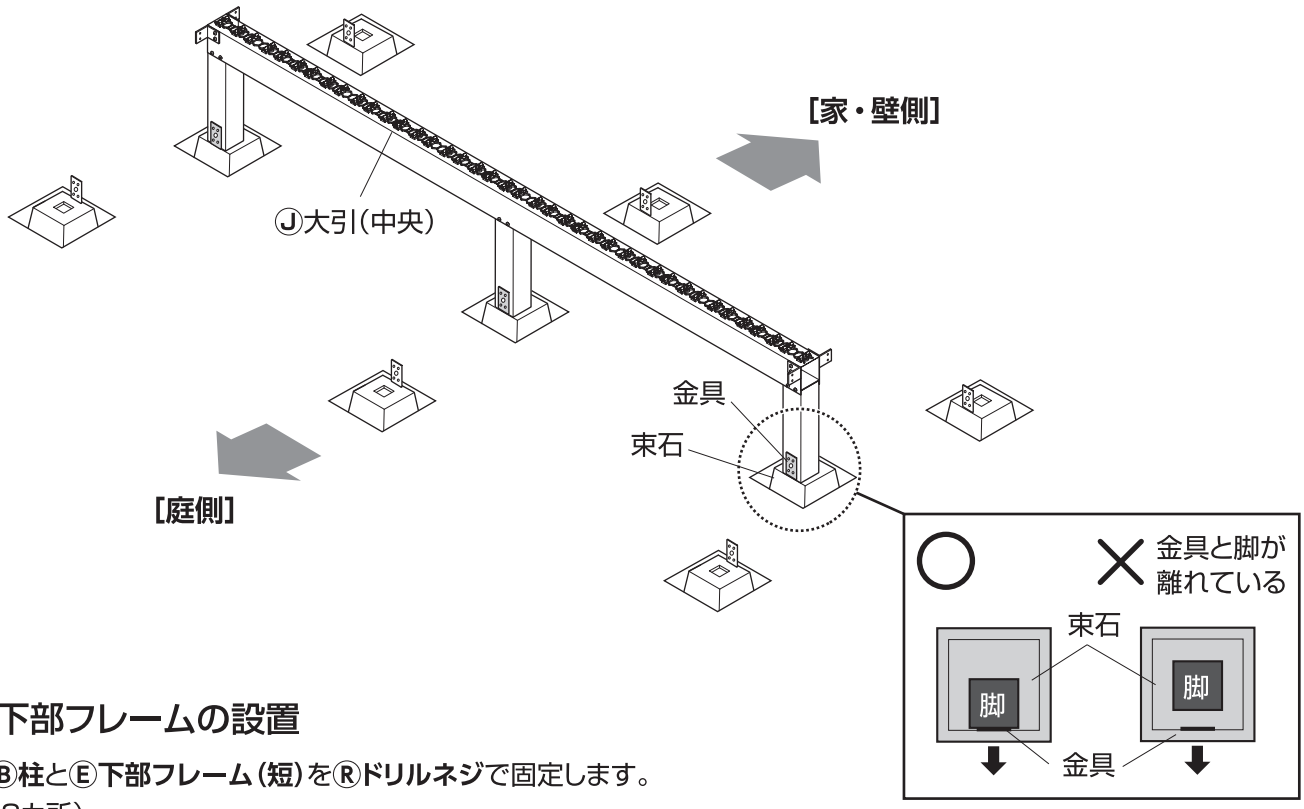
2.Ⓙ大引(中央)に**Ⓜ脚(短)**を**Ⓡドリルネジ**で固定します。(計12カ所)
※仮穴同士を合わせます。



組立方法

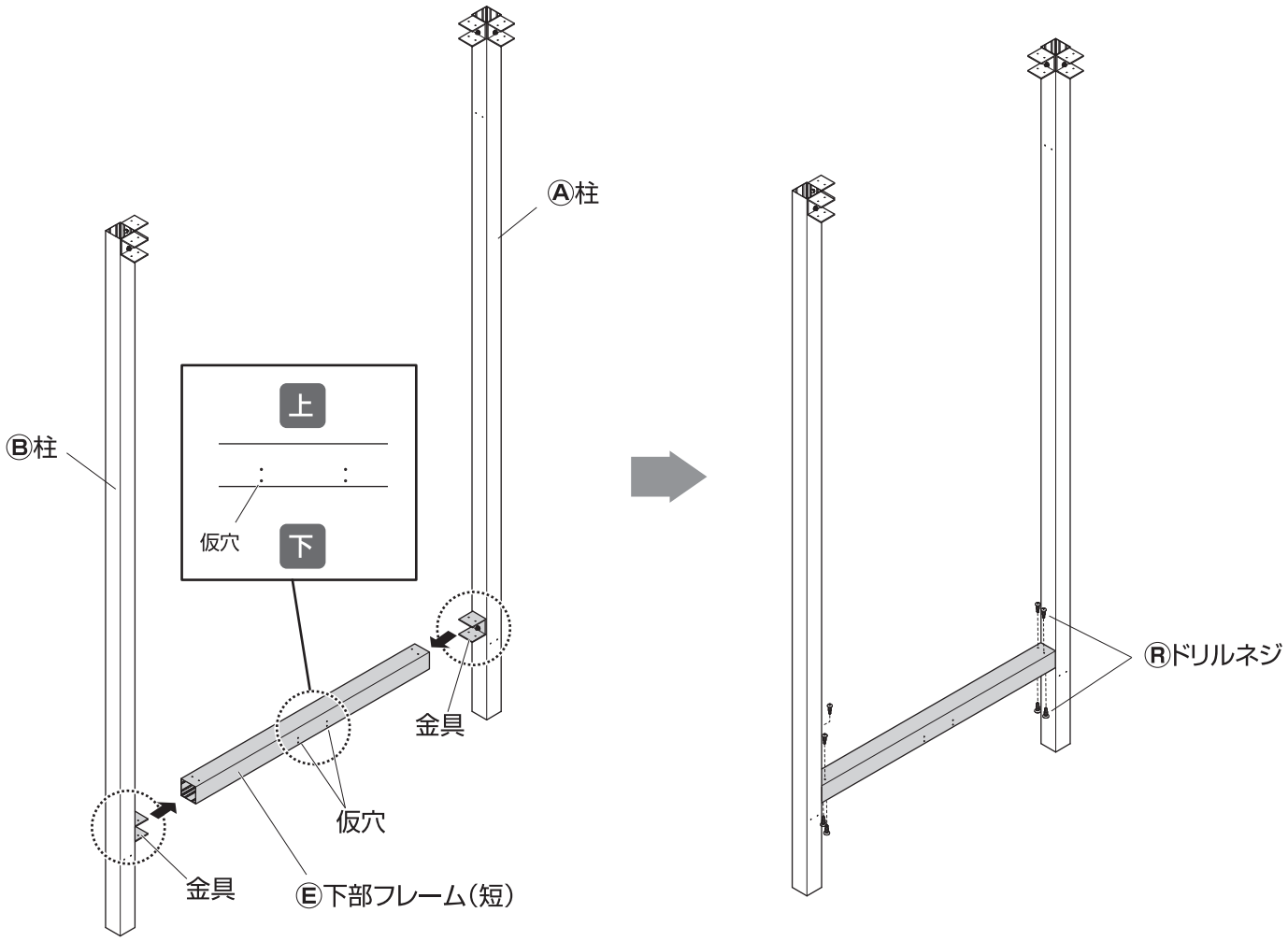
3.Ⓙ大引(中央)を束石の上に設置します。

※この時点で束石に固定しません。
転倒に注意してください。



3 柱と下部フレームの設置

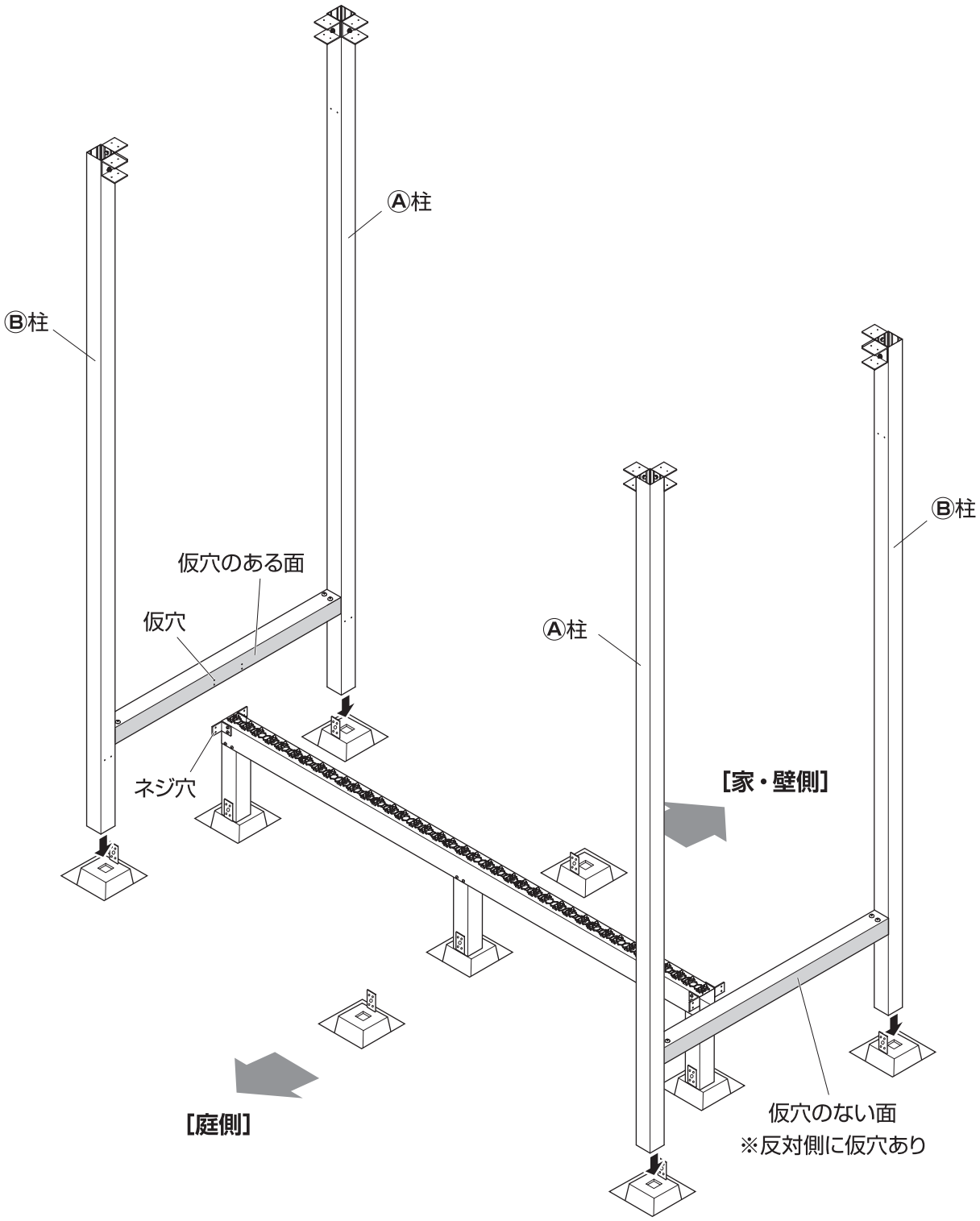
1.ⒶⒷ柱と**Ⓔ下部フレーム(短)**を**Ⓡドリルネジ**で固定します。
(計8カ所)



組立方法

2.残りの**Ⓐ**Ⓑ**柱**と**Ⓔ下部フレーム（短）**を同様に**Ⓡドリルネジ**で固定します。（計8カ所）
※下図を参照に、先に組み立てた**Ⓐ**Ⓑ**柱**、**Ⓔ下部フレーム（短）**と向い合わせに組み立てると作業がスムーズです。

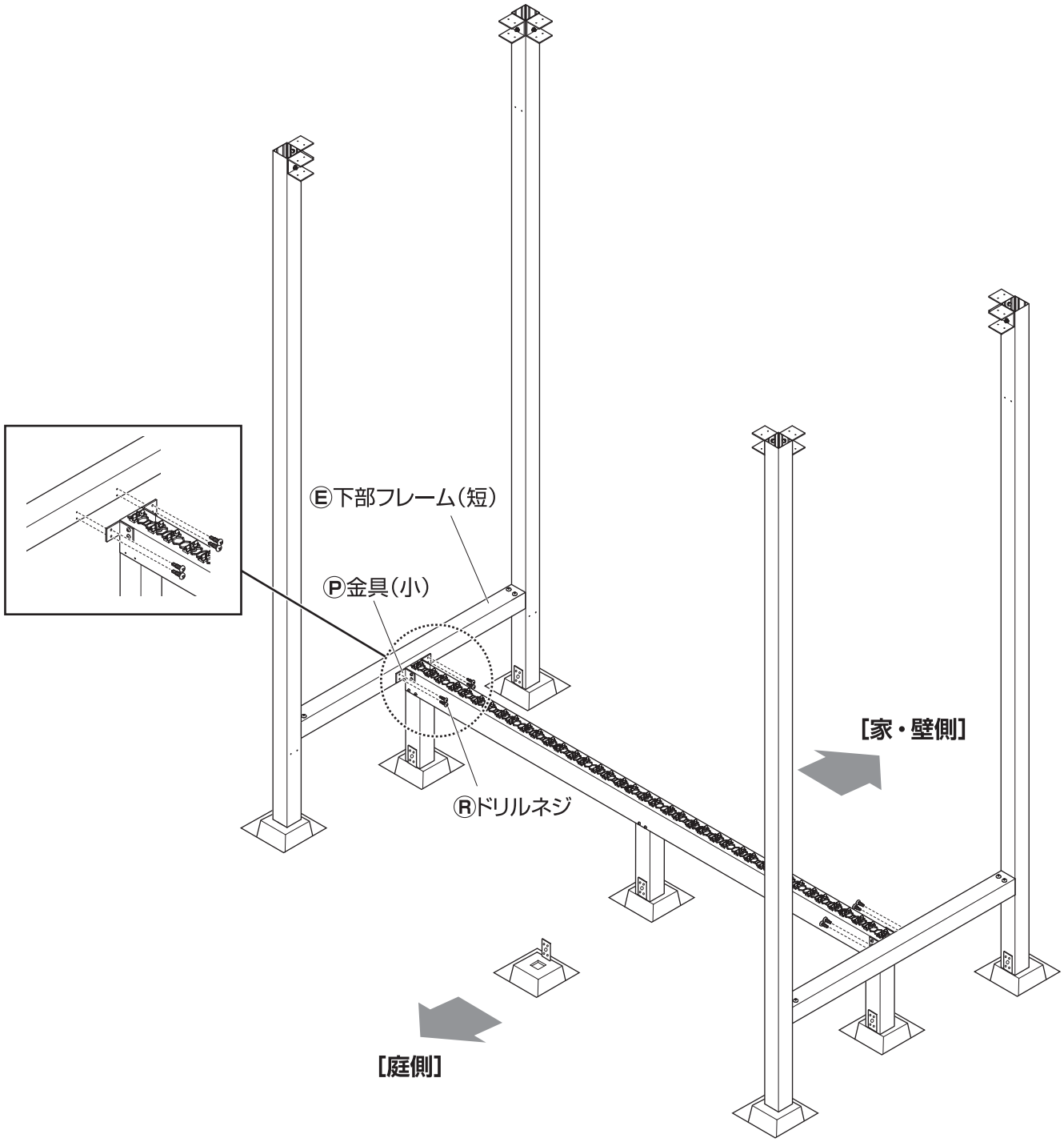
3.Ⓐ**Ⓑ柱**を**束石**の上に設置します。
※ネジ穴と仮穴を合わせます。



※この時点で束石に固定しません。
転倒に注意してください。

組立方法

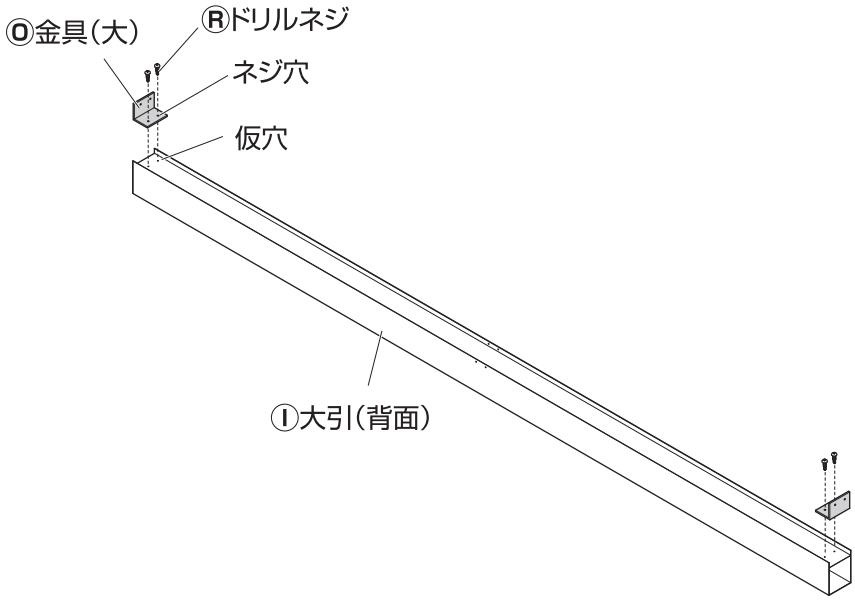
4.Ⓔ下部フレーム（短）と**Ⓟ金具（小）**を
Ⓡドリルネジで固定します。（計8カ所）



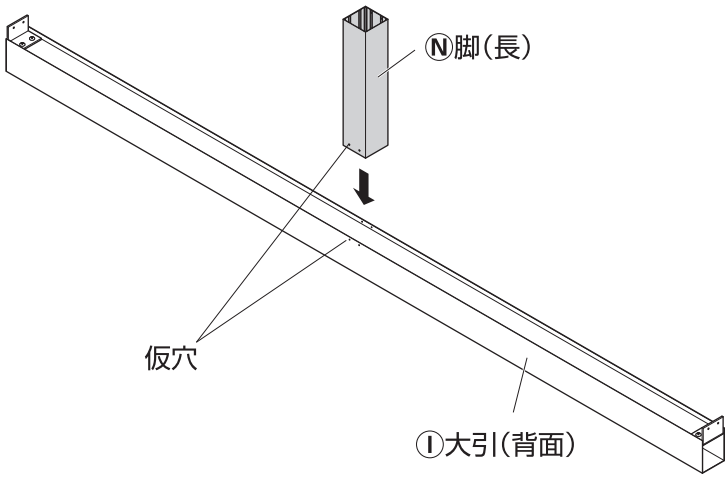
組立方法

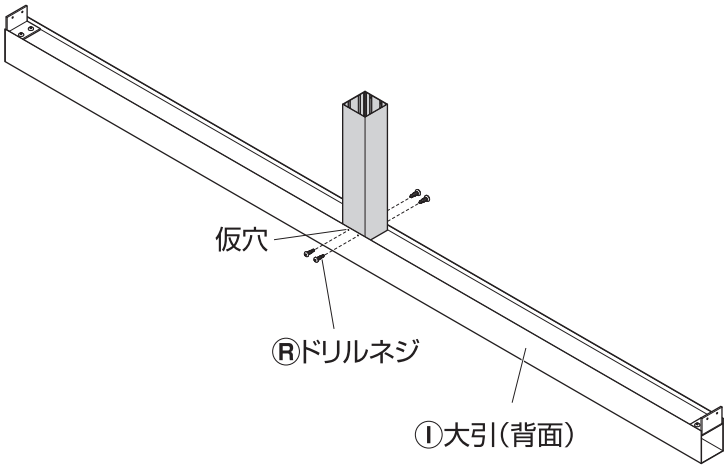
4 大引(背面)の取り付け

1.Ⓘ大引(背面)に**Ⓞ金具(大)**を**Ⓡドリルネジ**で固定します。
(計4カ所)



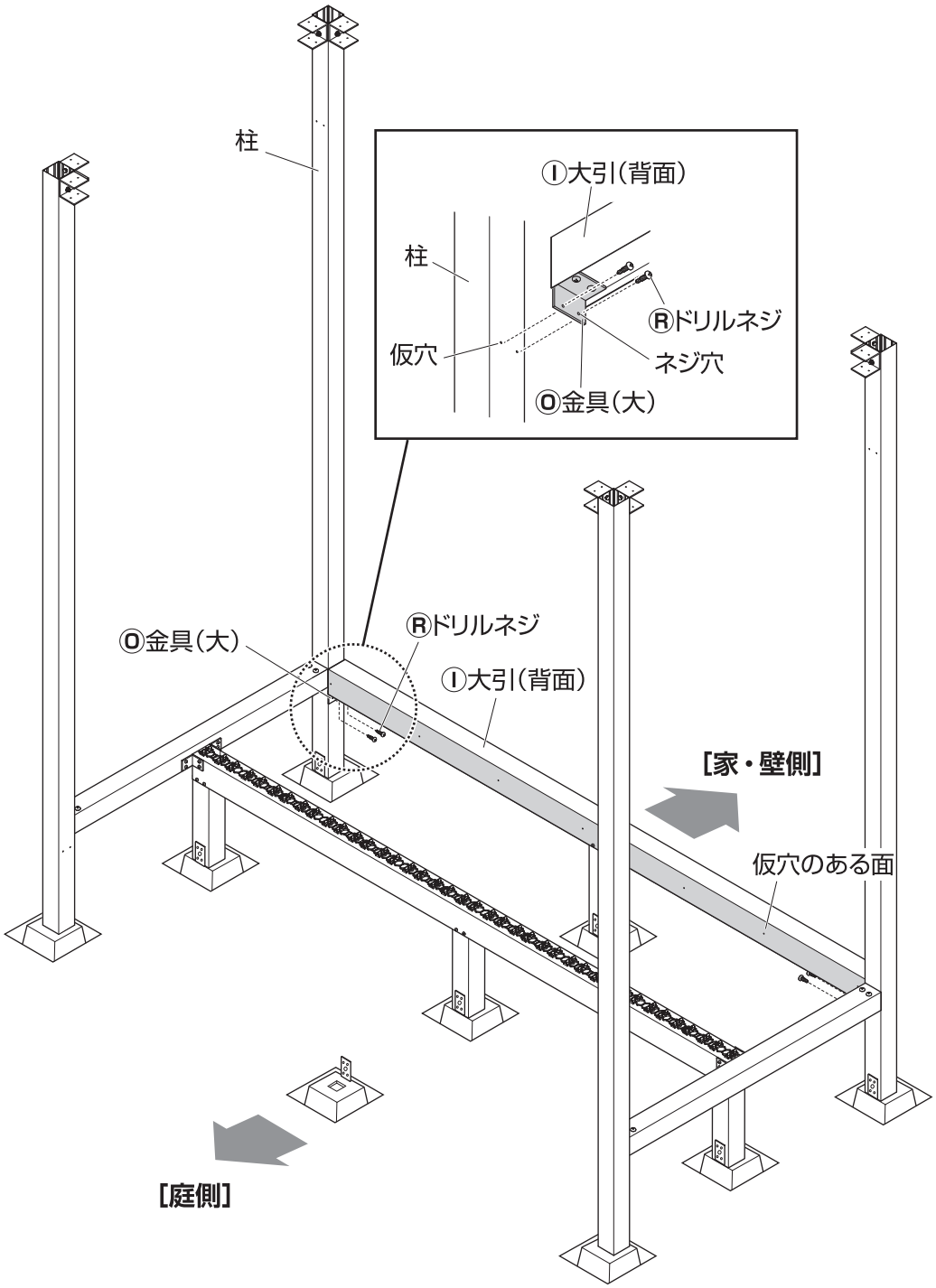
2.Ⓘ大引(背面)に**Ⓝ脚(長)**を**Ⓡドリルネジ**で固定します。(計4カ所)
※仮穴同士を合わせます。





組立方法

3.Ⓞ金具（大）を「家・壁側」の**柱**に**Ⓡドリルネジ**で固定します。（計4カ所）
※ネジ穴と仮穴を合わせます。

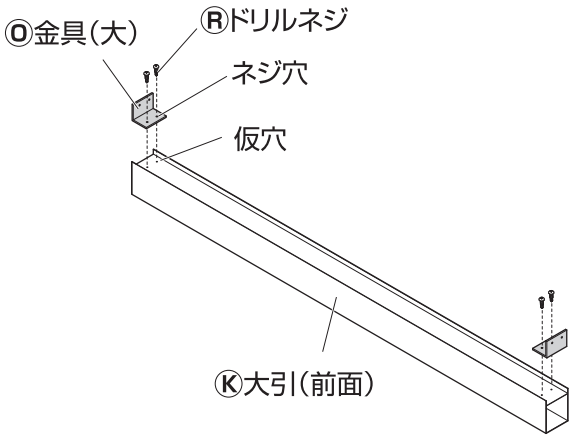


組立方法

5 大引(前面)の取り付け

1.Ⓚ大引(前面)に**Ⓞ金具(大)**を**Ⓡドリルネジ**で固定します。(計4カ所)

2.同様にもう1組、組み立てます。



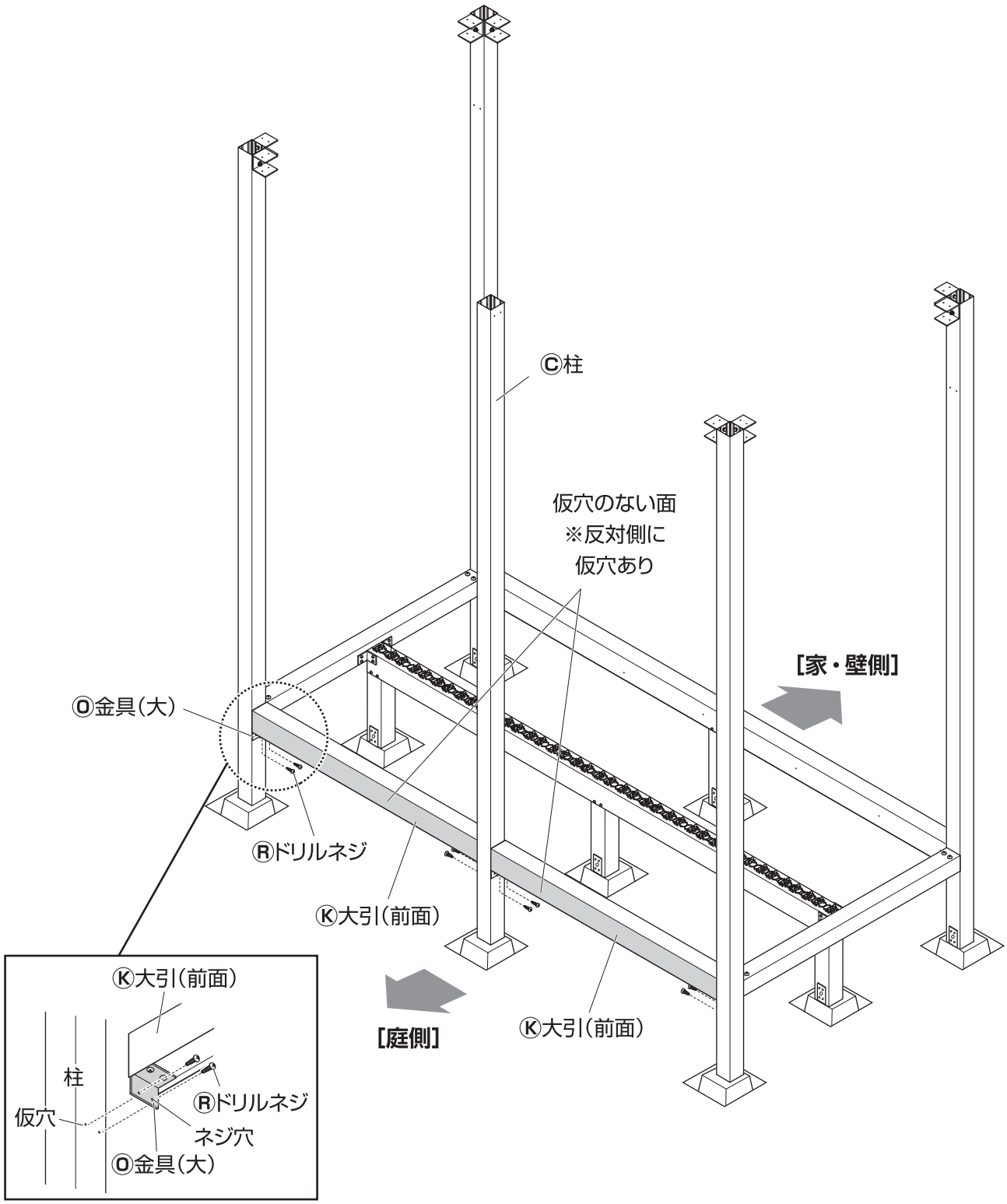
3.Ⓒ柱を**束石**の上に設置します。
※上下の向きに注意してください。

短
仮穴
Ⓒ柱
[家・壁側]
仮穴
長
[庭側]

※この時点で束石に固定しません。
転倒に注意してください。

組立方法

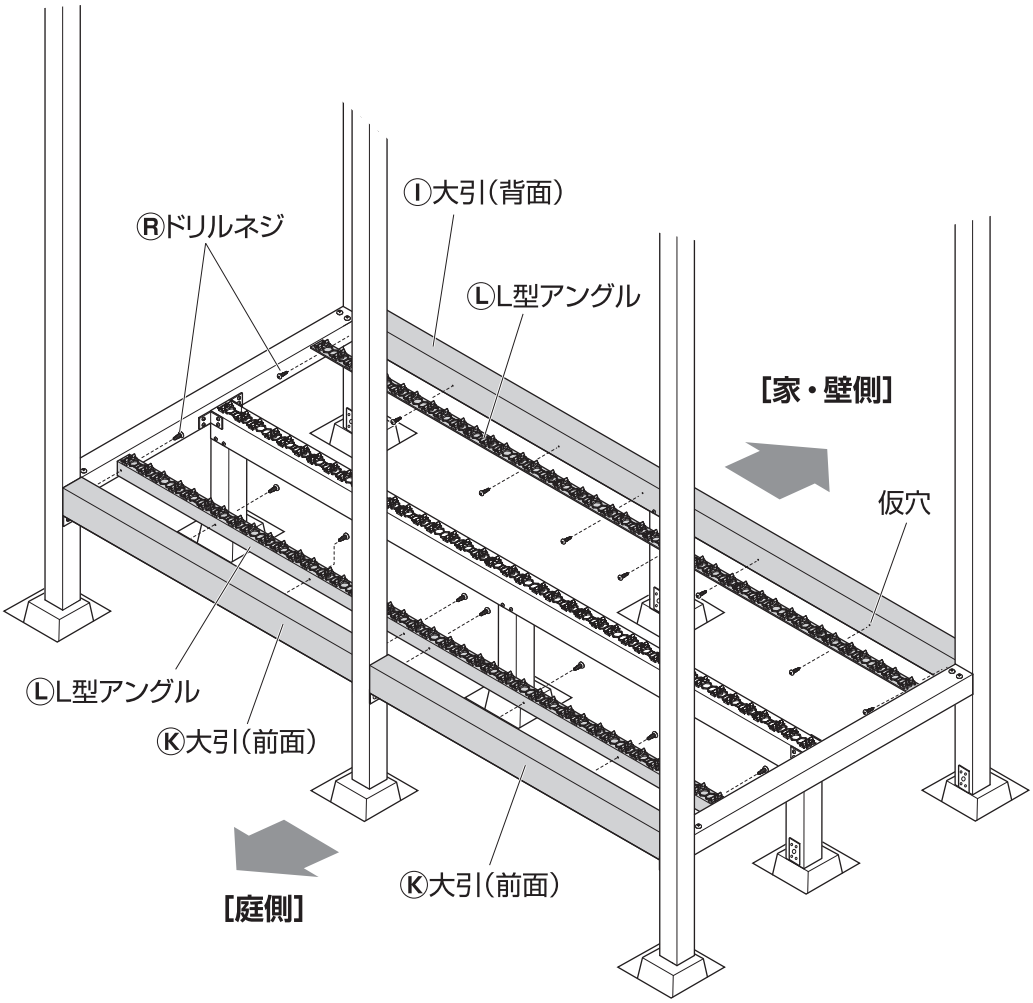
4.Ⓞ金具（大）を**柱**に**Ⓡドリルネジ**で固定します。（計8カ所）
※ネジ穴と仮穴を合わせます。



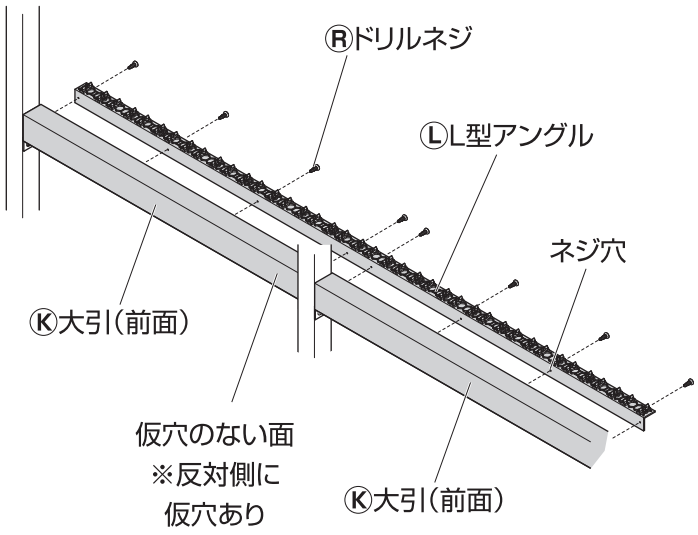
組立方法

6 L型アングルの固定

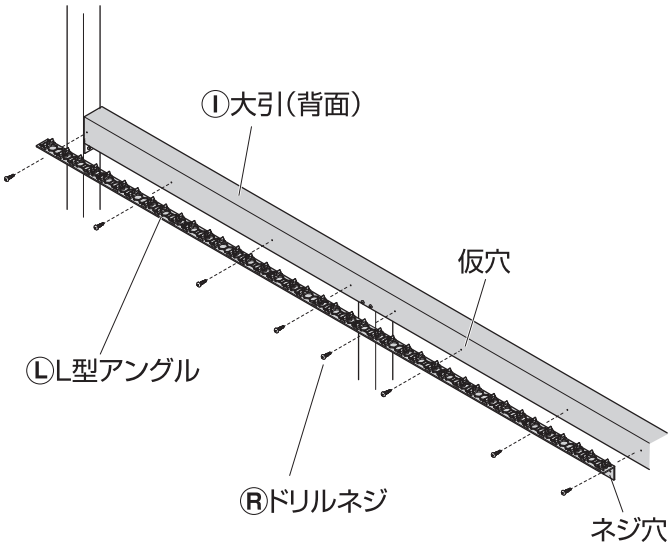
Ⓘ大引（背面）と**Ⓚ大引（前面）**に**ⒶL型アングル**を**Ⓡドリルネジ**で
固定します。（大引1本につき8カ所、計16カ所）
※ネジ穴と仮穴を合わせます。



■ **大引（前面）**



■ **大引（背面）**



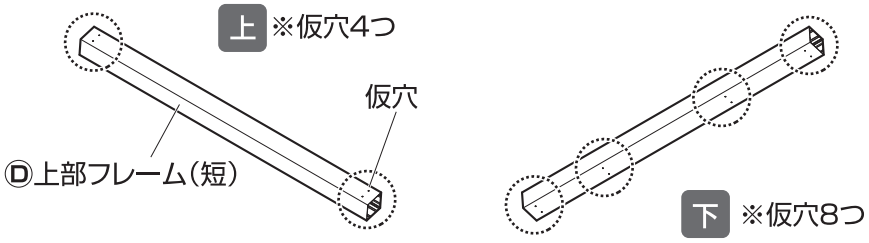
組立方法

7 上部フレームの取り付け

1.柱に**Ⓓ上部フレーム（短）**を取り付け、**Ⓡドリルネジ**で固定します。（上部フレーム1本につき8カ所、計16カ所）
※**Ⓓ上部フレーム（短）**の上下に注意してください。

⚠注意

脚立を使っての高所作業が必要です。身体のバランス、手足元の位置を確認し、落下等の事故に注意してください。

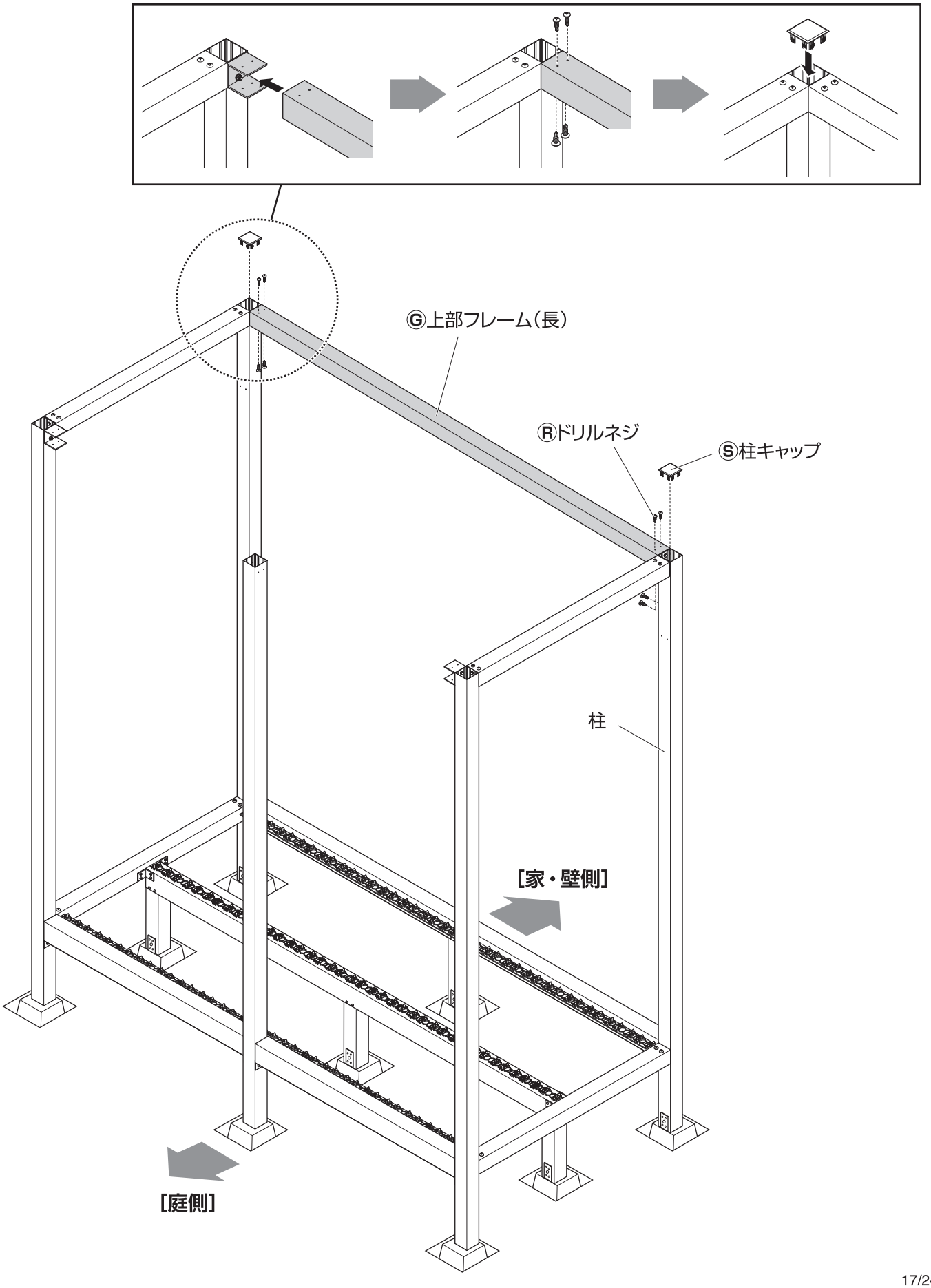


Ⓓ上部フレーム（短）
Ⓡドリルネジ
仮穴
柱
[家・壁側]
[庭側]

組立方法

2.柱に**Ⓖ上部フレーム（長）**を取り付け、**Ⓡドリルネジ**で
固定します。（計8カ所）

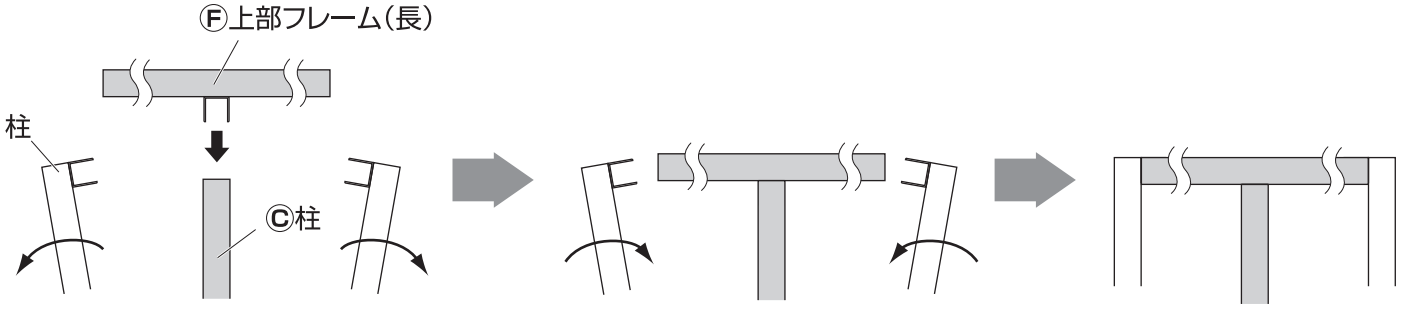
3.柱に**Ⓢ柱キャップ**を取り付けます。（計2カ所）



組立方法

4.柱に**Ⓕ上部フレーム（長）**を取り付けます。
このとき、中央の金具を**Ⓒ柱**に差し込みます。

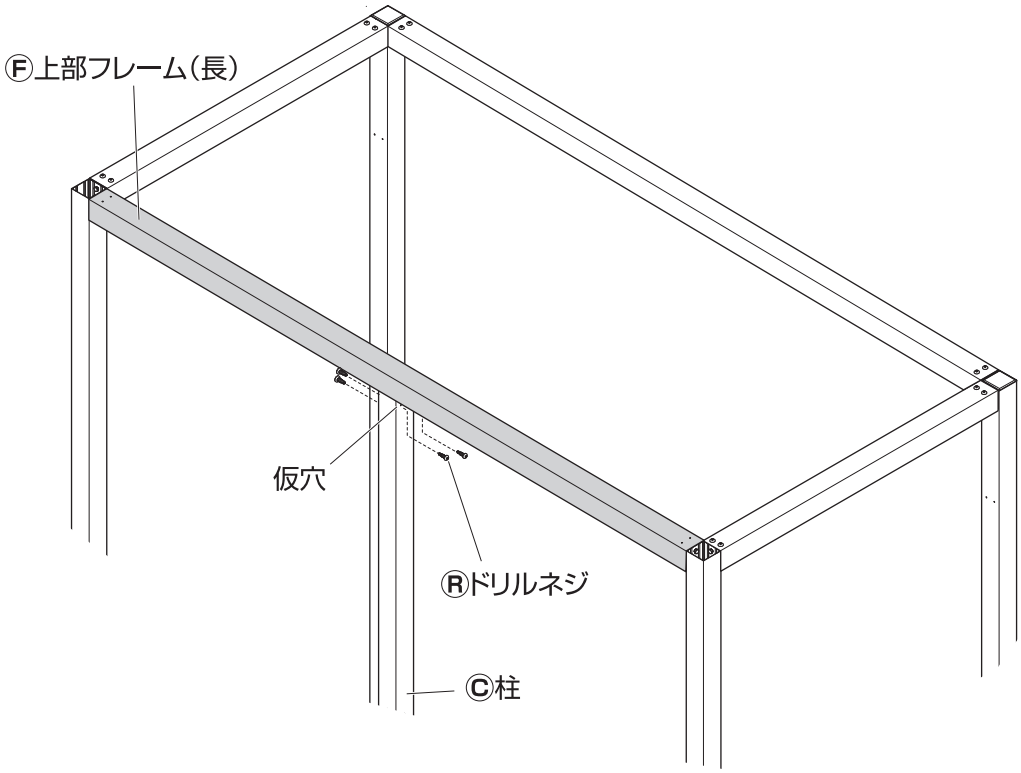
Ⓕ上部フレーム（長）
金具
柱
Ⓒ柱
柱
[家・壁側]
[庭側]



※**柱**を左右に広げます。

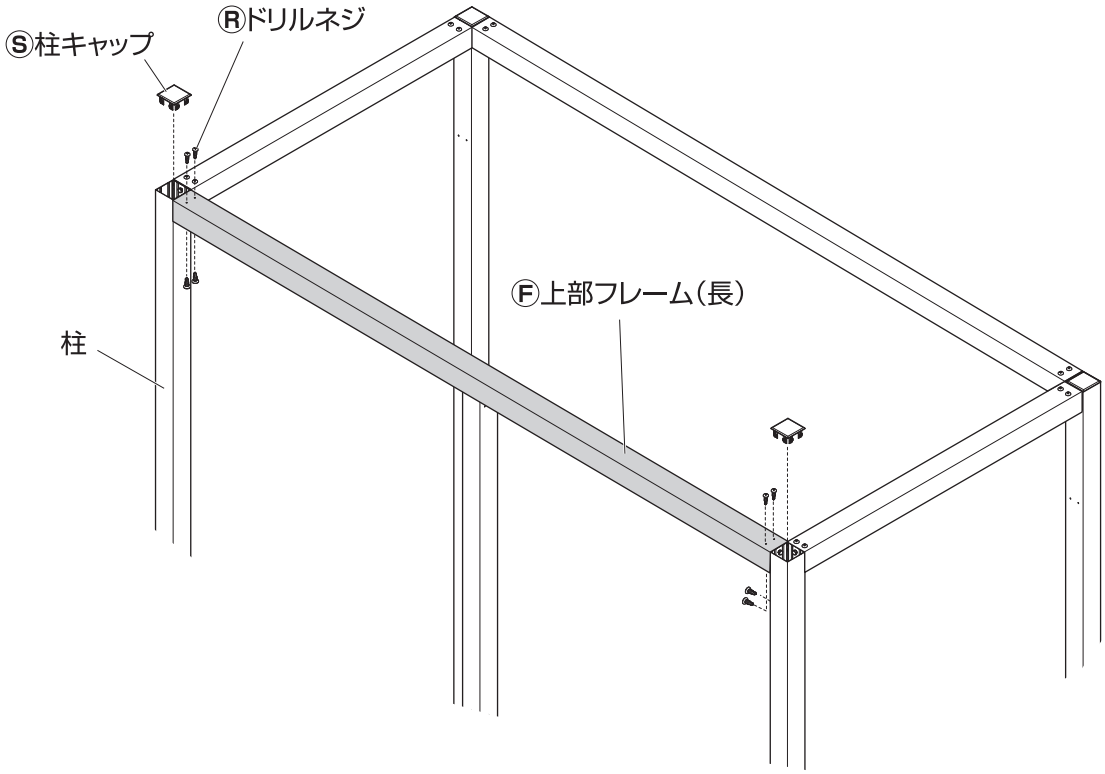
組立方法

5.Ⓒ柱と**Ⓕ上部フレーム（長）**を**Ⓡドリルネジ**で固定します。（計4カ所）



6.柱と**Ⓕ上部フレーム（長）**を**Ⓡドリルネジ**で固定します。（計8カ所）

7.柱に**Ⓢ柱キャップ**を取り付けます。（計2カ所）



組立方法

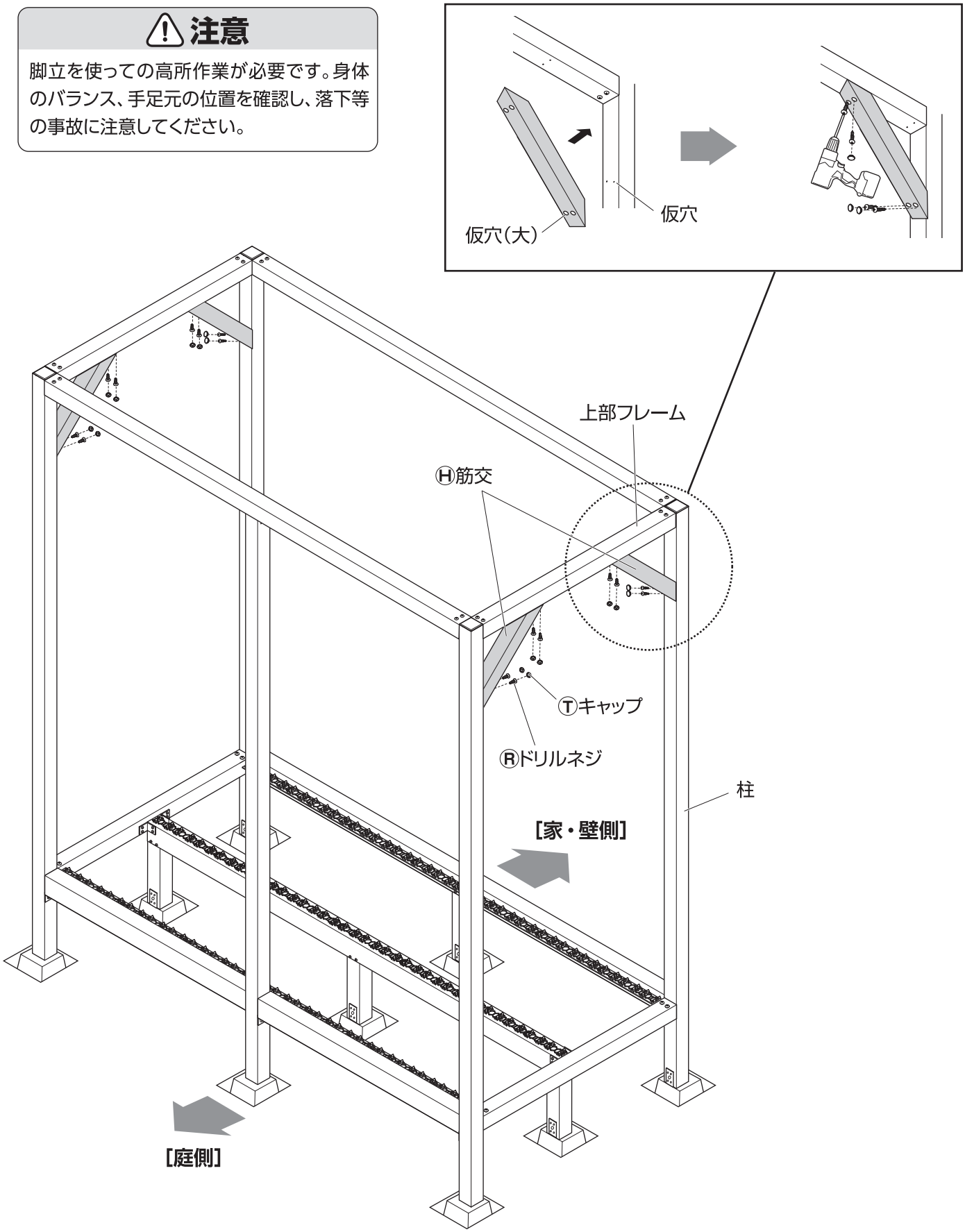
8 筋交の取り付け

1.柱と**上部フレーム**に**Ⓗ筋交**を**Ⓡドリルネジ**で
固定します。（筋交1本につき4カ所、計16カ所）

2.Ⓗ筋交に**Ⓣキャップ**を取り付けます。（計16カ所）

⚠注意

脚立を使っての高所作業が必要です。身体のバランス、手足元の位置を確認し、落下等の事故に注意してください。

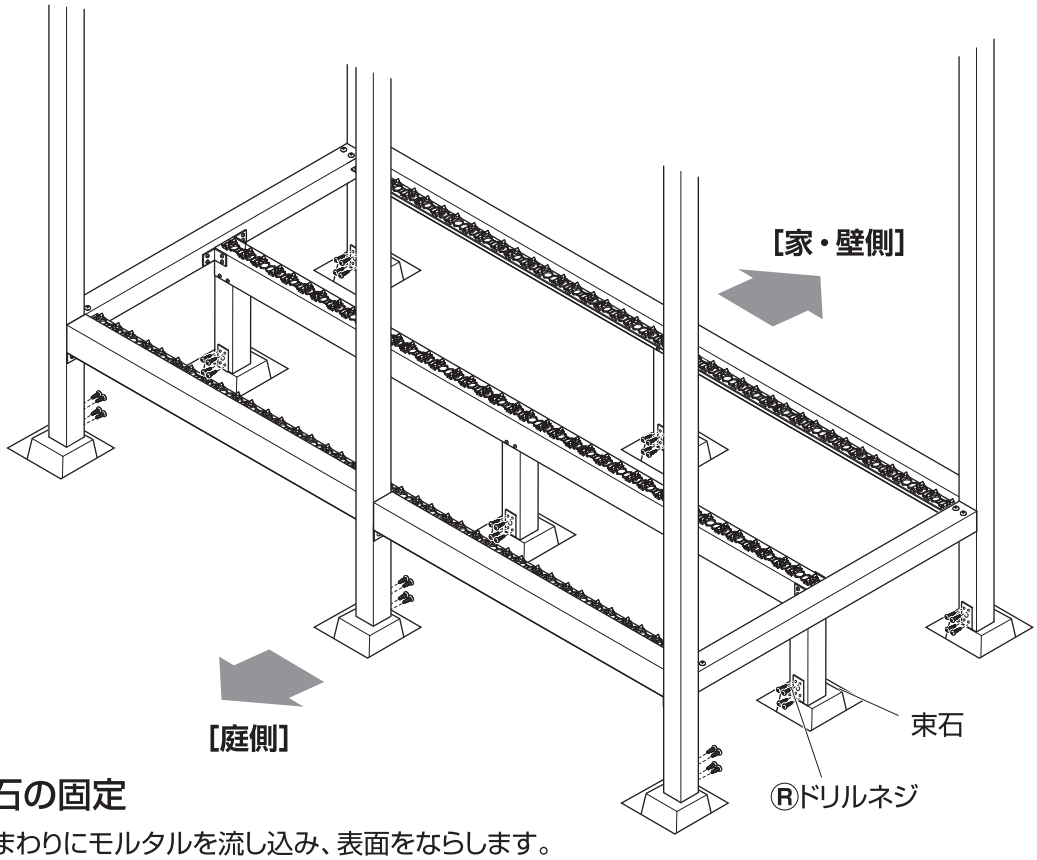


組立方法

9 柱の固定

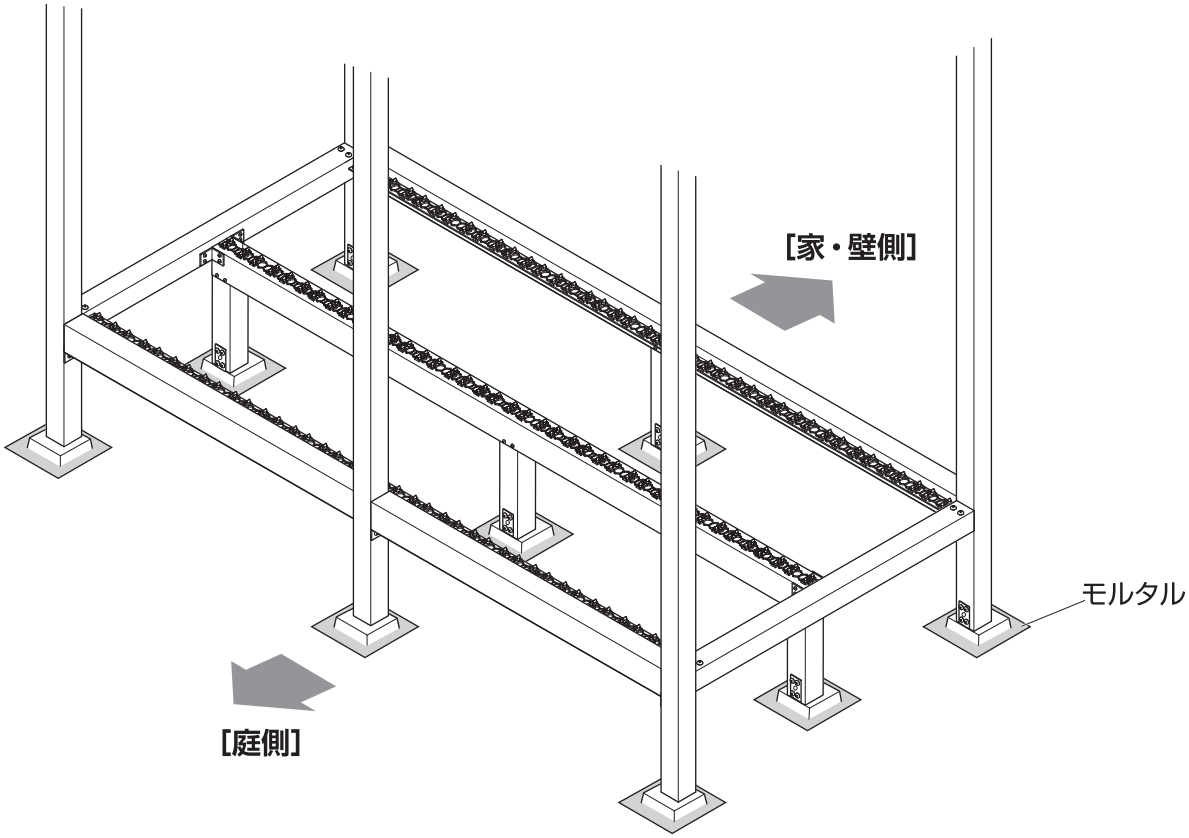
1.柱と**束石**の位置を調整します。
束石の金具の穴位置に合わせて、**柱**に仮穴を開けます。

2.柱と**束石**を**Ⓡドリルネジ**で固定します。（束石1個あたり4本、計36本）
※必ずすべての**柱**を固定してください。固定箇所は、使用する**束石**に合わせてください。



10 束石の固定

束石のまわりにモルタルを流し込み、表面をならします。
乾いたら、土をかけて、周囲となじませます。

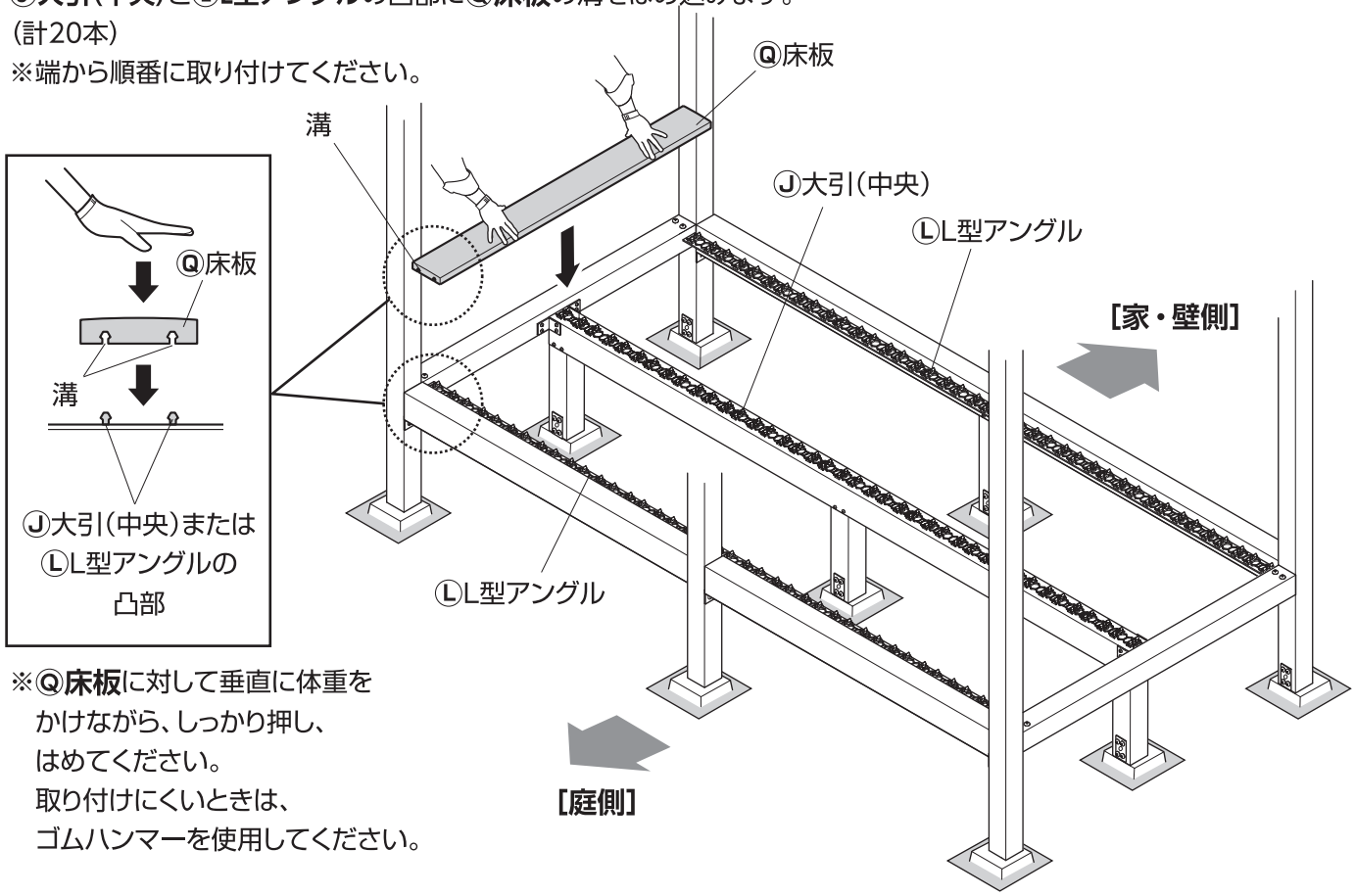


組立方法

11 床板の取り付け

※必ず、モルタルが乾燥した後に取り付けてください。

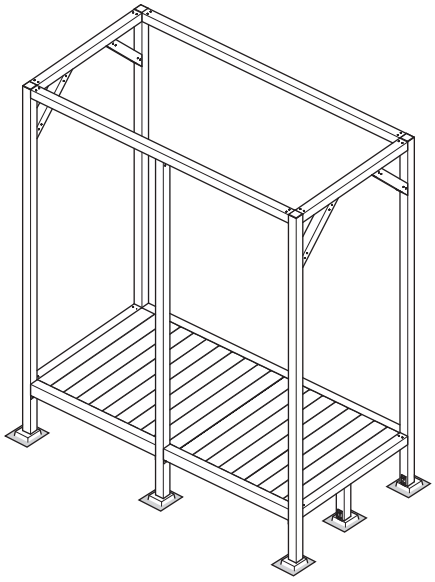
Ⓙ**大引(中央)**とⓁ**L型アングル**の凸部にⓆ**床板**の溝をはめ込みます。
(計20本)
※端から順番に取り付けてください。



※Ⓠ**床板**に対して垂直に体重をかけながら、しっかり押し、はめてください。
取り付けにくいときは、ゴムハンマーを使用してください。

12 完成

ガタツキがないか確認します。



⚠注意

床板は数カ月でシルバーグレーに変化します。これは、表面の色変化であり、耐久性には問題ありません。

品　番	材　質	外形寸法(cm)
BEW-T2600	フレーム部：アルミニウム (表面処理 / ポリエステル樹脂粉体塗装転写シート焼付処理) デッキ部：天然木	幅262.5×奥行135×高さ310

◆部品の形状、仕様等が、出荷時期によって、予告なく変更される場合があります。ご了承ください。
◆ご不要になった商品は、地域の条例等に従って正しく処分してください。

オプション（別売）

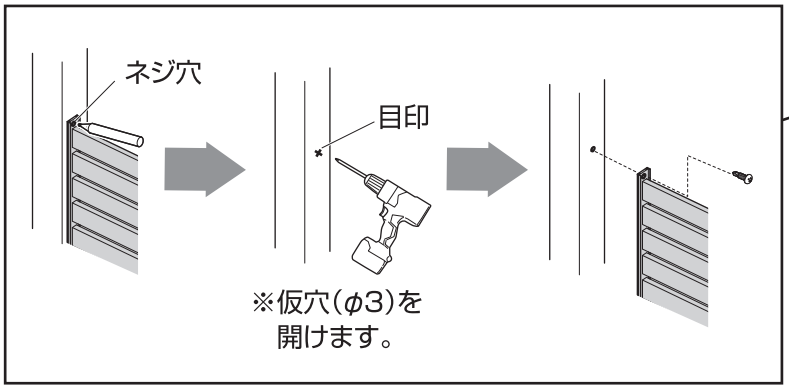
●各商品に付属の取扱説明書を合わせてご確認ください。

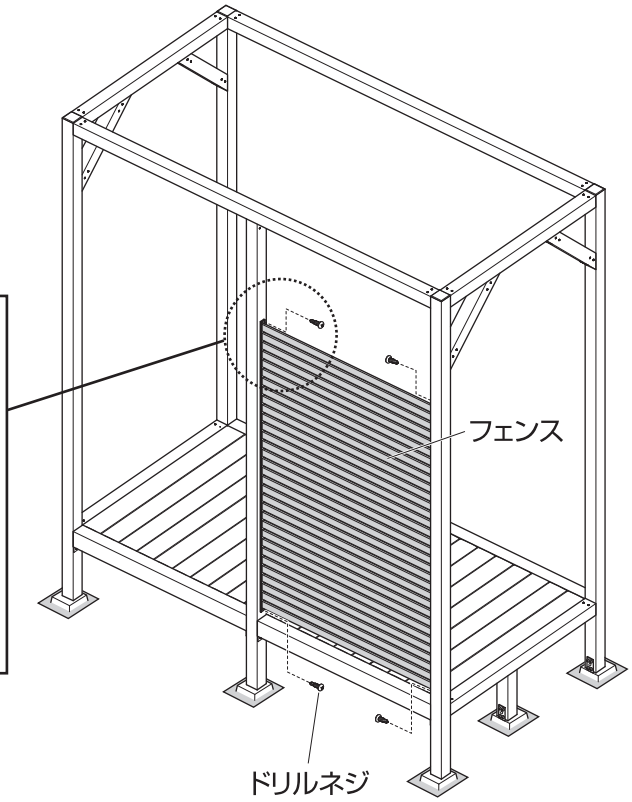
■美WOODフェンス スリムボーダー（BEW-FS）・シックボーダー（BEW-FC）

※イラストはスリムボーダー 1765（BEW-FS1765）

1.フェンスを取付位置に仮置きし、ネジ穴の位置に目印をつけます。
フェンスを取り外し、目印の位置に仮穴を開けます。（計4カ所）

2.フェンス本体のネジ穴と仮穴を合わせ、**ドリルネジ**（フェンスに付属）で固定します。（計4カ所）
ガタツキがないか確認します。

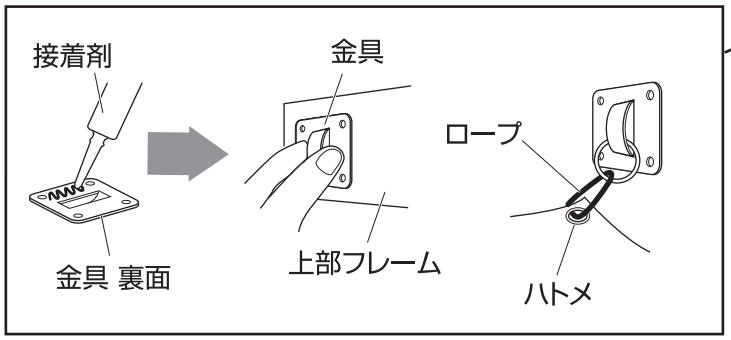


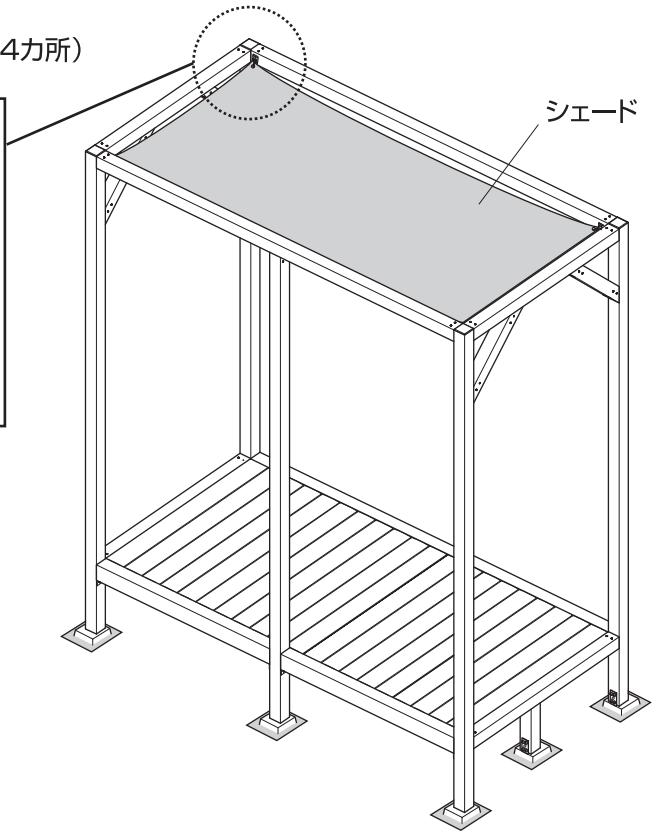


■庭テラス シェード 2600（BEW-C2600）

1.接着剤を**金具**の裏面全体に塗ります。**上部フレーム**に**接着剤**が全体にはみ出すくらいに強く押し付けます。同様に、残りの**金具**を**上部フレーム**に取り付けます。（計3カ所）
※金具は四隅に取り付けてください。

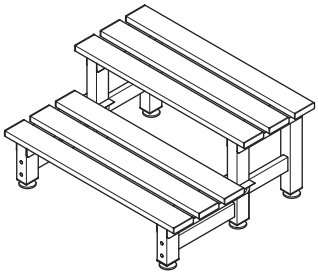
2.金具と**シェード**のハトメに**ロープ**を結びつけ、固定します。（計4カ所）





■美WOOD デッキ 2段ステップ（BEW-2S）

付属の取扱説明書に従い、**ステップ本体**に組み立てます。
ステップ本体を設置します。



ご使用上のお願い

- 本商品は一般家庭での使用を目的としたものです。公共および商業施設では使用しないでください。
- 金属部分は、素材の性質上、サビや劣化、退色は避けられません。
- サビが衣類等に付かないようご注意ください。
- 本商品は天然木を使用しています。紫外線などさまざまな理由により、塗装の変色、劣化が進みます。
- 天然木は風化してささくれなどができる場合がありますので、ご注意ください。
- 樹液が出る場合がありますので、衣類など汚さないようご注意ください。特に汗など水分を含んだ衣類は汚れが付着するおそれがあります。
- 同じ材質の木部材でも、成長の場所や過程の違いで少しずつ変化が起こるため、仕上がり後の色調や、色の濃さに違いが生じます。
- 十分に乾燥させた木材を使用していますが、木目の入り方や、湿気、紫外線等による経年変化により、曲がり、反り、割れが生じることがあります。
- 商品の切り口に切断時のささくれが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。
- 紫外線などにより劣化が進みますので、定期的にメンテナンスすることをおすすめします。
  また破損、割れが確認された場合、事故防止のため、処分してください。

定期点検・お手入れ

汚れを落とすとき

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でからぶきしてください。
- 著しい汚れを落とす場合は、うすめた中性洗剤を使用してください。

メンテナンスについて

- 安全のため、定期的（2～3カ月を目安）にガタツキやネジにゆるみがないか確認してご使用ください。
- 木部表面が変色したり、割れの原因となるため、濡れたときは速やかにふき取ってください。
- 雨、湿気、紫外線により商品から樹液、ヤニが流れ落ちる場合があります。樹液、ヤニが出たときは、乾いた布でふき取るか、乾燥して硬くなってからサンドペーパーなどで磨いてください。サンドペーパーで木材を磨いた後は、木粉をしっかりふき取ってください。
- 塗装する場合は、その塗料の使用説明に従って、風通しの良い場所（屋外など）で換気に注意して作業を行ってください。
- 塗装をする際はゴミ、汚れ等を落としてください。
- 長くお使いいただくためには、定期的なメンテナンスをおすすめします。

木製部分のお手入れ方法例

ご用意いただく物：木材保護塗料、ハケ、サンドペーパー、ふき取り用布、新聞紙

1. 濡れ雑巾などで表面をふき、ドロや汚れ、ホコリなどを落とします。
2. 表面や角のささくれ等は、サンドペーパーで研磨し、できるだけ滑らかに調整します。
3. 表面が乾燥したら、1回目の塗装をハケなどで行って、乾燥させます。
4. 2回目の塗装をハケなどで行った後、布などで表面にすり込みます。
5. 細かいサンドペーパーで仕上げの研磨を行い、必要に応じて保護塗料を少し染み込ませた布でふきあげます。
6. 塗装後、1日以上乾燥させます。

※塗装を行うときは周囲が汚れないように新聞紙で覆うなどして作業を行ってください。

※詳細な塗装方法についてはご使用になる塗料の取扱説明書に従って、風通しの良い場所（屋外など）で換気に注意して作業を行ってください。

使い方・お手入れなどのご相談は…

タカショー お客様サービスセンター
受付時間/月～金　AM9:00～PM5:00（祝日は除く）

通話料無料 **0120-51-4128**（こいよいにわ）

【お客様サービスセンターにおけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

株式会社タカショーおよびタカショーグループ関連会社は、お客様の個人情報をご相談対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために、発信番号を通知いただいております。
なお、個人情報は適切に管理し、業務上、正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、お客様サービスセンターまでご連絡ください。

株式会社タカショー　http://homeuse.takasho.co.jp/
本社 〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1　TEL. 073-482-4128（代）　FAX. 073-486-2560（代）

MADE IN CHINA